

2018年12月6日

クライアントのシニアビジネスを、開発から実施までワンストップで支援する実働部隊 「博報堂シニアビジネスフォース」を設立

株式会社博報堂（本社：東京都港区、代表取締役社長：水島 正幸、以下博報堂）は、多様化するシニア層の実態を把握し、欲求を見極め、有効なシニアビジネスソリューションを提供するプロジェクトチーム「博報堂シニアビジネスフォース」を設立しましたので、お知らせします。



博報堂は、2000年に「エルダービジネス推進室」を設立、2011年には「博報堂新しい大人文化研究所」に発展させ、シニア層に関する定点調査や知識の体系化を行い、その知見をクライアントのシニアマーケティングに活かしてまいりました。

寿命の伸長による人生100年時代の到来という社会構造の変化によって、50代以上の生活者が日本の人口のマジョリティになる時代が訪れ、シニア市場の攻略がすでにビジネス成功の成否を決める鍵となっています。

しかし、巨大な市場に対して効果的なアクションがとれている企業は多くはありません。

「博報堂シニアビジネスフォース」は、「50超マジョリティ社会」において、シニア層こそ主要なビジネスターゲットとして、全方位的に捉えます。そして、リタイア後も20～30年生きることが多くなった「100年生活者」を誰よりも深く知ることでシニア層のインサイトを見極め、新しい価値やビジネスチャンスを生み出す創造的で実践的なビジネスソリューションを提供、シニア層に関するビジネスに対応するプロジェクトチームを設立しました。

博報堂シニアビジネスフォースのフィロソフィー 100年生活者発想

「100年生活者」と社会やクライアントのかけ橋を築くためには、リタイアしたらみな同じという大雑把なとらえ方しかされてこなかったシニア層にこそ、博報堂が長年培ってきた「生活者発想」をあてはめるべきだと考え、「100年生活者発想」として拡張し、個々のシニア層を深く洞察し新しい価値観を創造します。

従来は70年を区切りとして設計していた人生モデルではビジネス開発は立ちいかない、という視座に立ち、人生100年時代にふさわしい生活、社会設計のデザインを意識します。人生の脱一本化、老後の準備の早期化、自分の再発見、こころから財布の見直しなど、80代、90代、そして100歳までの生活すべての領域に渡ってビジネス創造のチャンスがあると捉えます。

博報堂シニアビジネスフォースのオリジナルメソッド 陰陽インサイトとPositiVision

シニアの気持ちは陰陽ないませず。不安のなかにも希望があり、希望のなかにも不安があります。

博報堂シニアビジネスフォースは、シニア生活者をより深く洞察するために、インサイトをとことん見つめる「陰陽インサイト」を独自に考案しました。さらに不安のなかにある小さな希望に着目して、その先にある「歓び」や「本質的な欲求」を可視化し、生活者が抱えるネガティブな課題をポジティブな価値へと転化させる、オリジナルメソッド「PositiVision」を開発しました。「陰陽インサイト」と「PositiVision」を併せて、よりシニア生活者の本質を捉えた商品やサービスをコンセプト段階から開発し、シニア生活者にとっての「新しい幸せ」を創造していきます。

博報堂シニアビジネスフォースの4つの武器

① 100年生活者データバンク ～「100年生活者」発想で「把握する」ために～

20年間培ってきた定点調査・分析データに加え、博報堂グループ内外のデータリソースを統合し、100年スパンで生活者を掌握・分析するデータバンクを整備します。

博報堂D Yグループのデータリソース「Querida」、シニアSNSとの連携、協力会社が持つシニア富裕層のデータなどを組み合わせ、シニアを包括的に捉えるソリューションを得意先のビジネス開発テーマに合わせて提供いたします。

② シニアビジネスに強いエキスパート ～「100年生活者」発想で「考える」ために～

シニアビジネス領域に対応できる下記の人材を揃えました。

- ・シニア領域のインサイトとデータを駆使して戦略立案を行うストラテジスト
- ・シニアの実感値に根差した表現開発を得意とするクリエイター
- ・新たな事業アイデアを導き出し、一気通貫で遂行する統括プロデューサー
- ・シニアに最適なメディアを開発・プランニングするメディアプロデューサー
- ・デジタルを使いこなすシニア層を動かすシニアズ・デジタルアクティベータ
- ・シニアのリアルを調査・分析するシニアナレッジエキスパート
- ・突出した専門分野を持つテーマ型人材（そもそもの存在意義を問うビジネスコンサルタント／地域創生クリエイティブディレクター／シニアオタク研究家／食プロデューサー／テクノロジスト／映画プロデューサー／エッセイストなど）

これらのエキスパートたちによる分厚い陣容で、戦略立案から新規事業創出支援まで、あらゆるビジネス課題に対して、これまでになく価値を創造します。

③ シニアズ・デジタルアクティベータ ～「100年生活者」発想で「動かす」ために～

さまざまなデジタル機器を使いこなすシニアが着実に増えるなか、「お年寄りにはテレビ・新聞でリーチすれば十分」「ネットやオンラインでは捕まえない」という時代は終わりを告げ、シニアとしてひと括りにできないほど多様な利用実態への移り変わりが起こっています。

シニアズ・デジタルアクティベータは、デジタル施策とオフライン施策とのデータ統合やコミュニティとのスムーズな連携を通じて、より幅広いシニアの参加を促す「タッチポイント・バリアフリー」の発想に基づいた施策立案・検証の取り組みを通じて、シニア向けデジタルプロモーション企画力・実行力で新たな市場を切り拓きます。

④ 多彩なソリューションと推進体 ～「100年生活者」発想で「力を合わせる」ために～

様々な企業や機関、メディアと協力関係を結び、シニア生活者に向けたプロモーション施策の実行、事業開発プランニングを社内外の掛け算の連携力で推進します。

博報堂シニアビジネスフォース内のプロジェクト

- ・『新しい大人文化研究所』
高齢社会の生活者をフラットに見る「新しい大人」視点でインサイトを探り、新大人クラスター、生活者パネル、メディアネットワーク等実践ナレッジを開発し、コンサルテーションおよび実行計画に携わっています。
- ・『未定年層マーケティング』
揺れる50代を「未定年」層としてとらえ、調査研究とこの世代をターゲットとするマーケティングを行うプロジェクトです。
- ・『マダムラボ・ダンディラボ』
女の欲望ラボのオリジナルパネルである50代～70代のマダムラボ（シニア女性）とダンディラボ（シニア男性）とタグを組みそこから得られる生声を「関係性消費分析方法」で分析→「ヒットの兆し」を発見。これをベースに、生活者・企業の共創型の商品やコミュニケーション開発に活かしていきます。
- ・『賢人会議』
シニアの課題は、シニアが解決する。博報堂OBクリエイターが集結し、広告から事業開発まで、リアル世代が新しい答えを出します。
- ・『紅組』（あかぐみ）
「大人のオンナの実感値」で答えを出す。50才以上の女性クリエイター／コピーライターによる専門部隊です。

博報堂は今後も、よりよい未来のためのソーシャルイノベーションを起こす社会のエンジンとして、シニアマーケットの課題解決を目指してまいります。

博報堂シニアビジネスフォースの概要

代表：梅村太郎（MD ビジネスインキュベーション局）

人数：27名

URL: <http://hakuhodo-seniorbusiness.com>

本件に関するお問い合わせ：博報堂広報室 江渡 TEL：03-6441-6161